

# 契約説明書

入札順 2/2 午後

工事名	大崎上島中学校体育館屋根防水改修工事
工事場所	豊田郡大崎上島町中野
入札(予定)年月日	令和8年7月7日(火) 13時30分
入札場所	大崎上島町役場本庁入札室
予定工期	着手 契約締結の日の翌日 完成 令和8年12月11日
特約事項	前金払 : 有 (4/10以内) 中間前金払 : 有 (2/10以内) 部分払 : 無
最低制限価格	有
契約保証金	要
その他	・大崎上島町財務規則、建設工事執行規則及び建設業法等関係法令の定めるところによる。

# 入札条件

## 1 入札保証金

大崎上島町財務規則第98条第2項の規定により、免除する。

## 2 契約保証金

- (1) 請負人は、契約の締結と同時に次のいずれかに掲げる保証を付さなければならない。ただし、(オ)の場合においては、履行保証保険締結後、直ちにその保険証券を町長に寄託しなければならない。
  - (ア) 契約保証金の納付
  - (イ) 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供
  - (ウ) 契約による債務の不履行により生じる損害金の支払いを保証する銀行、町長が確実と認める金融機関又は保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。）の保証
  - (エ) 契約による債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証
  - (オ) 契約による債務の不履行により生じる損害をてん補する履行保証保険契約の締結
- (2) 契約の保証に係る契約保証金の額、保証金額又は保険金額及び保証の額は、請負代金額の10分の1とする。
- (3) 契約保証金及び契約保証金の納付に代えて提供された担保は、契約履行完了後に還付する。なお、契約保証金については、工事又は給付の完了の確認又は検査が終了したのち、契約の相手方から入札(契約)保証金還付請求書の提出を受けてこれと引換えに還付するものとする。
- (4) 契約保証金には、利子は付さない。

## 3 入札執行上の注意事項

- (1) 入札執行中は、入札執行者が特に必要と認めた場合を除き、入札室の出入りを禁止する。
- (2) 入札執行中は、入札者の私語、放言等は禁止する。
- (3) 入札室には入札に必要な者以外は入室してはならない。ただし、入札執行者が特に必要と認めた場合又は共同企業体を結成している場合は2名まで入室を可とする。
- (4) 入札書の記載事項について訂正し、挿入し、又は削除したときは、その箇所に印を押さなければならない。
- (5) 提出された入札書及び工事費内訳書の書換え、引替え、又は撤回は、認めない。
- (6) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた額）をもって落札価格とし、入札者は消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるか問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

## 4 代理入札

入札者の代理人として入札しようとする者は、あらかじめ委任状を提出して代理人として確認を受けなければならない。

## 5 工事費内訳書について

- (1) この工事は、入札参加者から入札時に工事費内訳書の提出を求める工事である。入札の際

に、工事費内訳書の提出がない場合、入札に参加することができない。

工事費内訳書の提出方法等については、書面により工事費内訳書を作成し、次の事項を記載し、入札書を提出する際に提出すること。

- (ア) 提出者の商号又は名称及び代表者名
  - (イ) 当該入札等に係る建設工事等の名称及び場所
- (2) 工事費内訳書については、本工事・附帯工事内訳書（種別程度）の記載を求めるが、様式は指定しないものとする。
- (3) 提出された工事費内訳書が次のアからエまでのいずれかに該当する場合には、その者は資格要件を満たしていないものとみなし、その者が行った入札を無効とする。
- (ア) 記名押印がない場合
  - (イ) 工事名に誤りがある場合
  - (ウ) 本工事・附帯工事内訳書（種別程度）の記載がない場合
  - (エ) 入札書に記載した価格と入札時に提出された工事費内訳書に記載している工事費総額が相違している場合
- (4) 入札参加者は、適切な見積りに基づいて入札するよう努めなければならない。
- (5) 入札後、落札業者が不良・不適格な業者と疑われるに至った場合及び低入札価格調査を行う場合並びに当該工事において談合があると疑うに足る事実があると認められる場合においては、提出された工事費内訳書の内容を確認するものとする。談合があると疑うに足る事実があると認められた場合には、必要に応じ提出された工事費内訳書を公正取引委員会等に提出するものとする。
- (6) 工事費内訳書の作成に要する費用は、提出者の負担とする。
- (7) 提出された工事費内訳書は、返却しないものとする。

## 6 落札者の決定

- (1) 落札者は、町の予定価格以内で最低価格の入札をした者とする。ただし、最低制限価格の設定のある場合は、予定価格以内であって最低制限価格以上の最低価格の入札をした者とする。
- (2) 落札となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、直ちに当該入札者にくじを引かせて落札者を決定する。この場合、くじ引きを拒否することはできない。

## 7 無効入札に関する事項

次に該当する場合は、その入札を無効にする。

- (1) 入札に参加する者に必要な資格のない者が入札したとき。
- (2) 工事名に誤りがある場合
- (3) 記名押印のない入札
- (4) 金額を訂正した入札
- (5) 入札が取り消すことができる無能力者の意志表示であるとき。
- (6) 契約担当職員が定めた入札に関する条件に違反したとき。
- (7) 入札者が2以上の入札をしたとき。
- (8) 他人の代理を兼ね、又は2人以上の代理をして入札をしたとき。
- (9) 入札者が連合（談合）して入札をしたとき、その他入札に際して不正の行為があったとき。
- (10) 必要な記載事項を確認できない入札をしたとき。
- (11) 工事費内訳書の提出がないとき。

## 8 再度入札

再度入札は、行わない。

## 9 入札の辞退

- (1) 指名を受けた者は、入札時までいつでも入札を辞退することができる。
- (2) 指名を受けた者が入札を辞退するときは、次に掲げるところにより行うものとする。
  - (ア) 入札前にあっては、その旨の書面を契約担当者等に直接持参するか郵送するものとする。
  - (イ) 入札中にあっては、その旨を入札書に記載し入札箱に投入するものとする。
- (3) 入札を辞退した者は、これを理由として以後の指名等について不利益な取扱いを受けるものではない。

## 10 入札の打ち切り

指名競争入札を打ち切る場合は、次に掲げるところにより行うものとする。

- (1) 入札前にあっては、指名を受けた者が1人を残し他の指名を受けた者が辞退した場合
- (2) 入札中（再度入札を除く。）にあっては、入札参加者1人を残し他の参加者が辞退し又は無効となった場合

## 11 建設リサイクル法関係書面の提出

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年度法律第104号。以下「法」という。）第9条第1項に規定する「**対象建設工事**」（下記《**対象建設工事の定義**》参照）を請け負おうとする者は、法第12条第1項に基づき、法第10条第1項第1号から第5号までに掲げる事項について記載した書面を交付して説明しなければならない。

また、請負契約の当事者は、法第13条及び「特定建設資材に係る分別解体等に関する省令」（平成14年国土交通省令第17号。以下「省令」という。）第4条に基づき、①分別解体等の方法、②解体工事に要する費用、③再資源化等をするための施設の名称及び所在地、④再資源化等に要する費用について、請負契約に係る書面に記載し、署名又は記名押印して相互に交付しなければならない。

このため、対象建設工事の落札者は、次の事項に留意し、落札決定通知の日から**4日以内**に、発注者（工事担当課）に対して、「法第12条第1項に基づく書面」を提出し、法第10条第1項第1号から第5号までに掲げる事項について説明した後、発注者（契約担当課）に対して、「法第13条及び省令第4条に基づく書面」を提出しなければならない。

対象建設工事の落札者がこれらの書面をこの期間内に提出しない場合、契約を締結することができないものとし、落札者が落札しても契約を締結しないもの（契約締結拒否）として取扱う。この場合、当該落札者は、契約保証の措置を行うために要する費用その他一切の費用について、発注者に請求できない。

- (1) 「法第12条第1項に基づく書面」は、別紙様式（12条関係様式）により作成すること。
- (2) 「法第13条及び省令第4条に基づく書面」は、別紙様式（13条関係様式）により作成すること。
- (3) 「法第13条及び省令第4条に基づく書面」中の「解体工事に要する費用」及び「再資源化に要する費用」は直接工事費とすること。
- (4) 「法第13条及び省令第4条に基づく書面」中の「再資源化に要する費用」は、特定建設

資材廃棄物の再資源化に要する費用とし、再資源化施設への搬入費に運搬費を加えたものとする。

《対象建設工事の定義》

「対象建設工事」とは、次の（ア）に示す特定建設資材を使用した若しくは使用する予定又は特定建設資材の廃棄物が発生する（イ）の工事規模の建設工事をいう。

（ア）特定建設資材（1品目以上）

- ① コンクリート
- ② コンクリート及び鉄から成る建設資材
- ③ 木材
- ④ アスファルト・コンクリート

（イ）工事規模

工事の種類	規模の基準
建築物解体工事	床面積の合計 80㎡以上
建築物新築・増築工事	床面積の合計 500㎡以上
建築物修繕・模様替工事	請負代金の額 1億円以上
建築物以外の工作物工事	請負代金の額 500万円以上

（注）解体・増築の場合は、各々解体・増築に係る床面積をいう。

## 12 現場代理人届並びに工程表の届出

現場代理人届並びに工程表については、契約締結後14日以内に届け出ること。

## 13 建設業退職金共済制度について

受注者は、工事に係る建設業退職金共済制度における共済証紙（以下「共済証紙」という。）を購入した場合（工事請負契約の変更等により追加購入した場合も含む。）は、購入状況を工事完成時までには発注者に書面で報告するものとする。この報告に当たっては、共済証紙を販売する金融機関が発行する発注者用掛金収納書を添付するものとする。

## 14 その他の留意事項

- (1) 刑法、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律を遵守し、入札の公正を害する行為は行わないこと。
- (2) 建設業法に違反する一括下請契約、いわゆる裏ジョイント契約その他不適切な形態により工事を実施する等契約当事者間の信頼を損なう行為は行わないこと。
- (3) 入札に際し、不正な行為又は疑惑を招く行為は行わないこと。

## 15 質問書の提出

入札に参加しようとする者は、入札閲覧仕様書（契約条項、仕様書、図面等をいう。）に関して質問がある場合は、次により入札閲覧仕様書に関する質問書を提出することができる。

(1) 提出方法

書面又はFaxにより大崎上島町総務課行政係に提出すること。

(2) 提出期限

原則、質問書は、入札日の前週金曜日（入札日が月曜日又は月曜日が閉庁日の場合は、前週木曜日）の午前中までに提出すること。

# 仕 様 書

件 名 大崎上島中学校体育館屋根防水改修工事  
場 所 豊田郡大崎上島町中野  
期 間 契約日の翌日 ～ 令和8年12月11日

概要	特記事項
大崎上島中学校体育館の屋根防水及び改修に伴う ・ 建築改修工事	



















建築工事 細目別内訳

大崎上島中学校体育館屋根改修工事		防水改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(屋根4)						
既存アルミ笠木再取付	W250	41.	m			
改修用ドレン取付	タテ 100φ	2.	箇所			
改修用ドレン取付	ヨコ 100φ	2.	箇所			
高圧水洗浄	平場 15Mpa以下	173.	m <sup>2</sup>			
アスファルト活性化塗布	平場	173.	m <sup>2</sup>			
下地調整	立上り エポキシ樹脂モルタル塗布	31.1	m <sup>2</sup>			
ウレタン塗膜防水	平場 X-1 特定化学物質無配合	173.	m <sup>2</sup>			
ウレタン塗膜防水	立上り X-2 特定化学物質無配合	31.1	m <sup>2</sup>			
入隅部 補強金物接地		68.9	m			
脱気筒設置	SUS製	3.	箇所			
(シーリング)						
外壁 誘発目地新設	20×15	1.9	m			
シーリング新設	建具廻り MS-2 10×7	8.8	m			
シーリング新設	誘発目地、既存アルミ笠木 MS-2 20×10	44.8	m			
(その他)						
資材運搬費		1	式			
計						













# 大崎上島中学校体育館屋根防水改修工事

令和 8年 5月

株式会社 村田相互設計

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
建築-0	表紙										
建築-1	図面リスト										
建築-2	建築改修工事特記仕様書-1										
建築-3	建築改修工事特記仕様書-2										
建築-4	建築改修工事特記仕様書-3										
建築-5	建築工事改修特記仕様書-4										
建築-6	建築工事改修特記仕様書-5										
建築-7	建築工事改修特記仕様書-6										
建築-8	建築工事改修特記仕様書-7										
建築-9	付近見取図、仕上表、工事概要、配置図										
建築-10	1階平面図										
建築-11	2階平面図										
建築-12	屋根伏図										
建築-13	立面図										
建築-14	断面詳細図1										
建築-15	断面詳細図2										
建築-16	部分詳細図										
建築-17	(参考) 仮設計画図										



防水改修工事 1 降雨等に対する養生方法 2 既存防水の処理 3 既存下地の処置 4 アスファルト防水

5 改質アスファルトシート防水 5 (5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調製したデシケータに入れ、常温で冷却する。次に、試験体の標線間隔が140mmになるように標線を刻む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼして、その上端が水平で約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せき取り、再び標線間の長さ(L2)を測る。吸水による長さ変化率(ΔL)は、次式によって求める。(ΔL) = (L2 - L1) / L1 × 100 ΔL: 吸水による長さ変化率(%) L1: 乾燥時の標線間の長さ(mm) L2: 吸水時の標線間の長さ(mm) (6) 凍結融解性能試験は、JIS A 5422「工業系サイディング」の気中凍結中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(工業系サイディングは200サイクルまでとする。)凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5~35℃の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3℃の気中で約2時間の凍結20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。(7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃性能試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。試験体の大きさは、4号(長さ400mm、幅300mm)とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号(W1-1000)、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体の厚さ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の有・無を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大ほみ深さを測定する。

6 合成高分子系ルーフィングシート防水 6 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ※ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 厚さ (mm以上) 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ※ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 厚さ (mm以上) 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ※ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※ R種 厚さ (mm以上) 脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個) 立り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 絶縁断熱工法の防水シート ・ 設置する ・ 設置しない

7 塗膜防水 7 シーリング 9 とい 10 アルミニウム製笠木

4-1-1 外壁 改修工事 共通事項	1	ポリマーセメントモルタル (品質・性能) [4.2.2] 項目 品質・性能 だれ 下がり量 (mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生が無いこと。 曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> ) 6.0以上 圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> ) 20.0以上 接着強さ (N/mm <sup>2</sup> ) 標準条件 1.0以上 特殊条件 浸潤時 0.8以上 低温時 0.5以上 透水性 裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。 その他 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルジョンは、常温常圧下において製造後6か月保存しても、変質しないこと。	4-1-2 外壁 改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)	① ひび割れ部改修工法 ○樹脂注入工法 [4.1.4] [4.2.4、5、6、7] 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入間隔 (mm) 注入量 (mL/m) ※自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 ※40 注入工法 0.3以上0.5未満 200~300 ※40 0.5以上1.0未満 ※70 ・ 自動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 0.5以上1.0未満 150~250 ※130 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	※樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入間隔 (mm) 注入量 (mL/m) ※自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 ※40 注入工法 0.3以上0.5未満 200~300 ※40 0.5以上1.0未満 ※70 ・ 自動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50~100 ※40 ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※70 0.5以上1.0未満 150~250 ※130 注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル ・ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂	3	仕上塗材仕上げ [4.1.5] [4.5.2] [表4.5.1] 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆ 仕上塗材の種類 ・ 薄付仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 防火材料 ※ 外装薄塗材 E ・ ・ 厚付け仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材 防火材料 ・ 適用する ・ 適用する ・ 適用する ・ 適用する ・ 薄層仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材の種類 耐水性 防火材料 ※ 複層塗材 E 溶媒 ※ 水系 ・ 樹脂 ※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ 軽量骨材仕上げ塗材 呼び名 防火材料 ・ ・	
	2	ポリマーセメントスラリー (品質・性能) [4.2.2] 広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) (%) 引張接着性 (材齢28日) (N/mm <sup>2</sup> ) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm <sup>2</sup> ) 吸水性 (72時間) (%) (劣化曲げ強さ) (N/mm <sup>2</sup> ) 耐久性 3以上 3以下 0.5以上 5.0以上 15以下 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 粘着係数 0.50~1.00	4-1-3 外壁 改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)	2	欠損部改修工法 [4.1.4] [4.2.4、5] ※ 充填工法 (欠損部の面積が0.25m <sup>2</sup> /箇所程度以下の場合) 充填材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル ・ モルタル塗替え工法 モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示	・ タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 外装タイル接着剤類の接着剤 ・ タイル張替え工法 (下地モルタルを撤去する場合) 貼付けモルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※ 改修標準仕様書表4.4.2による ・ 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り ・ タイル張りの工法 ・ 外装タイル ( ・ 密着張り ・ 改良接着張り ・ 改良接着張り ) ・ ユニットタイル ( ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ) ・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り 目地詰め ※ 行う ・ 行わない 下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地の処理 ※ 目置工法 ・ シーリング材の種類 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコン系	4	マスチック塗材塗り [4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1] 改修標準仕様書表4.6.2による。 工法及び仕上げの形状 ・ 吹付け ( ・ 凹凸状 ・ 凸凹処理 ) ・ ローラ塗り ( ・ 杵ず肌状 ・ ) 仕上げ塗料の耐水性 ・ 耐水性1種 ・ 耐水性2種 ・ 耐水性3種 下地調整塗材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4-2章外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁) による。 モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4-3章外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁) による。 吹付け工法の塗料の種類 ( ・ 所要量 (kg/m <sup>2</sup> ) ) 外装用仕上げ塗料の種類 ( ・ 所要量 (kg/m <sup>2</sup> ) )
	3	吸水調整材 改修標準仕様書表4.3.2による [4.3.6]	4-1-4 外壁 改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁)	3	浮き部改修工法 [4.1.4] [4.3.9、10] ※ 充填工法 (欠損部の面積が0.25m <sup>2</sup> /箇所程度以下の場合) 充填材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル ・ モルタル塗替え工法 モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料 既製目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示	・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ アンカーピンニングの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度	5	外壁用差込防水材塗り [4.1.5] [4.7.2、3] [表4.7.1] 工法及び仕上げの形状 ・ 吹付け ( ・ 凹凸状 ・ 凸凹処理 ) ・ ローラ塗り ( ・ 杵ず肌状 ・ ) 仕上げ塗料の耐水性 ・ 耐水性1種 ・ 耐水性2種 ・ 耐水性3種 下地調整塗材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4-2章外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁) による。 モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4-3章外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁) による。 吹付け工法の塗料の種類 ( ・ 所要量 (kg/m <sup>2</sup> ) ) 外装用仕上げ塗料の種類 ( ・ 所要量 (kg/m <sup>2</sup> ) )
	4	既調合モルタル (品質・性能) [4.3.6] 項目 品質・性能 保水率 70.0%以上 長さ変化率 0.20%以下 単位容積質量 1.80kg/g以上 曲げ強さ 4.0N/mm <sup>2</sup> 以上 接着強さ 標準時 0.60N/mm <sup>2</sup> 以上 低温繰り返し後 0.40N/mm <sup>2</sup> 以上 (試験方法) (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準繰り上げり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに必要な材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P2001「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5Aろ紙 (直径11cm) をのせ、その中央部に真鍮リングを置く (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に詰込む。 その後、直ちにリングを破り上層ガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の量が最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さ各ノズクを用いて、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求め、 保水率=50/平均値×100 (注) 50: リング型わくの直径 mm (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ (標準時) の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施すの「小口タイル (外の寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗料」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周囲に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、樹脂接着層で調製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm <sup>2</sup> 以上を確保していること) また、試験後の部材切断位置の表示を下記の中から選び明記する。 T: タイルの母材切断 TM: 既調合モルタルとタイルの界面切断 M: 既調合モルタルの母材切断 MG: 既調合モルタルと下地板の界面切断 G: 下地板の母材切断 ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施すの「小口タイル 108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 (5) 接着強さ (低温繰り返し後) の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。 (低温繰り返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗料」に規定する7.11低温繰り返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せしめた後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を自視によって調べる。 (低温繰り返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々低温繰り返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm <sup>2</sup> 以上を確保していること) (6) 長さ変化率の試験方法 JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスパーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。 (7) 曲げ強さの試験方法 JIS A6916「建築用下地調整塗料」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態: 試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。	4-1-5 外壁 改修工事 (仕上げ塗材仕上げ外壁)	4	目地改修工法 [4.1.4] [4.4.5、9~15] [4.5.9~15] ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ アンカーピンニングの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度	6	外壁複合改修工法 [4.1.5] [4.7.2、3] [表4.7.1] 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする	
4-1-5 外壁 改修工事 (仕上げ塗材仕上げ外壁)	4-1-5 外壁 改修工事 (仕上げ塗材仕上げ外壁)	4-1-5 外壁 改修工事 (仕上げ塗材仕上げ外壁)	4-1-5 外壁 改修工事 (仕上げ塗材仕上げ外壁)	4-1-5 外壁 改修工事 (仕上げ塗材仕上げ外壁)	4-1-5 外壁 改修工事 (仕上げ塗材仕上げ外壁)	4-1-5 外壁 改修工事 (仕上げ塗材仕上げ外壁)	4-1-5 外壁 改修工事 (仕上げ塗材仕上げ外壁)	



5	改修工法	[5.1.3][5.1.6]		9	鋼製軽量建具	性能値等(建具符号:・建具表による) [5.2.2][5.5.2~4]		クローザー類(品質・性能)	[5.11.2、3]			
		既存建具の種類	かぶせ工法			撤去工法	適用箇所		区分	① ドアクローザー	② ヒンジクローザー	③ フロアヒンジ
2	防火戸	[5.1.4]		10	ステンレス製建具	性能値等(建具符号:・建具表による) [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]		性能試験項目	[5.12.2~4]			
		アルミニウム製建具	樹脂製建具			鋼製建具	鋼製軽量建具		ステンレス製建具	Grade2	番号	閉じモーメント(N・m)
3	見本の製作等	[5.1.5]		11	建具用金物	性能値等(建具符号:・建具表による) [5.2.2][5.4.2][5.7.2、3]		重量試験項目	[5.13.2、3]			
		アルミニウム製建具	樹脂製建具			鋼製建具	鋼製軽量建具		ステンレス製建具	Grade2	番号	閉じモーメント(N・m)
4	防火建築物部	[5.1.7]		12	鍵	性能値等(建具符号:・建具表による) [5.8.4]		耐久性試験	[5.9.2、3]			
		アルミニウム製建具	樹脂製建具			鋼製建具	鋼製軽量建具		ステンレス製建具	Grade2	回数(繰り返し)	閉じモーメント(N・m)
5	アルミニウム製建具	[5.2.2~5][5.2.2]		13	自動ドア開閉装置	性能値等(建具符号:・建具表による) [5.9.2、3]		耐久性試験	[5.10.3]			
		アルミニウム製建具	樹脂製建具			鋼製建具	鋼製軽量建具		ステンレス製建具	Grade2	回数(繰り返し)	閉じモーメント(N・m)
6	網戸等	[5.2.3][5.3.3]		14	自閉式上り引引装置	性能値等(建具符号:・建具表による) [5.10.3]		耐久性試験	[5.11.2、3]			
		アルミニウム製建具	樹脂製建具			鋼製建具	鋼製軽量建具		ステンレス製建具	Grade2	回数(繰り返し)	閉じモーメント(N・m)
7	樹脂製建具	[5.2.2][5.3.2~5]		15	重量シャッター	性能値等(建具符号:・建具表による) [5.11.2、3]		耐久性試験	[5.12.2~4]			
		アルミニウム製建具	樹脂製建具			鋼製建具	鋼製軽量建具		ステンレス製建具	Grade2	回数(繰り返し)	閉じモーメント(N・m)
8	鋼製建具	[5.2.2][5.4.2~4][5.5.4.2]		16	軽量シャッター	性能値等(建具符号:・建具表による) [5.12.2~4]		耐久性試験	[5.13.2、3]			
		アルミニウム製建具	樹脂製建具			鋼製建具	鋼製軽量建具		ステンレス製建具	Grade2	回数(繰り返し)	閉じモーメント(N・m)
9	鋼製建具	[5.2.2][5.4.2~4][5.5.4.2]		17	オーバーヘッドドア	性能値等(建具符号:・建具表による) [5.13.2、3]		耐久性試験	[5.14.2~4]			
		アルミニウム製建具	樹脂製建具			鋼製建具	鋼製軽量建具		ステンレス製建具	Grade2	回数(繰り返し)	閉じモーメント(N・m)
10	鋼製建具	[5.2.2][5.4.2~4][5.5.4.2]		18	木製建具	性能値等(建具符号:・建具表による) [5.7.2~4]		耐久性試験	[5.15.2~4]			
		アルミニウム製建具	樹脂製建具			鋼製建具	鋼製軽量建具		ステンレス製建具	Grade2	回数(繰り返し)	閉じモーメント(N・m)
11	鋼製建具	[5.2.2][5.4.2~4][5.5.4.2]		19	木製建具	性能値等(建具符号:・建具表による) [5.7.2~4]		耐久性試験	[5.16.2~4]			
		アルミニウム製建具	樹脂製建具			鋼製建具	鋼製軽量建具		ステンレス製建具	Grade2	回数(繰り返し)	閉じモーメント(N・m)

19	ガラス	(3, 7, 5, 14, 2~4) (図5.14.1)	6 内装 改修 工事	1 他部位との取り 合い等	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 [6.1.3] ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示 既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま 図示	8 造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6.5.2(1)(9)(b)による ・ JAS 0701に基づく造作用単板積層材	14 窓、出入口その他	窓、出入口その他に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) ※ 常元栓、水廻りの下枠及び敷居はひのき、その他は杉又は松
		2 既存床の撤去及び 下地補修		ビニル床シート等の撤去 ※ 仕上材のみ (接着剤とも) [6.2.2] ・ 下地モルタルとも ( 図示の範囲 撤去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目貫し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。	9 合板等		ホルムアルデヒド放散量 ※ 標準仕様書12.2.1(1)(ウ)による [6.5.2] [6.3.1] [6.3.6] [6.3.7] [6.3.8] [6.3.9]	15 床板張り	・ 織甲板及び上りこまちに用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6.5.8] ※ ひのき
		3 既存壁の撤去及び 下地補修		間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全厚25mmを超える場合の処理 ※ 図示 )	10 接合具等		造作材の化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし釘打ち ・ 釘頭隠し [6.5.3] 諸金物の形状、寸法及び材質 ※ 材質が ※ 改修標準仕様書6.5.3に示す程度の市販品 図示 ※ 改修標準仕様書6.5.4に示す程度の市販品 図示 ※ 改修標準仕様書6.5.5に示す程度の市販品 図示 ※ 改修標準仕様書6.5.5(a)①による加圧注入 ※ 改修標準仕様書6.5.5(1)(a)②による加圧注入 ※ 改修標準仕様書6.5.5(1)(b)①による ※ 附属書A (規定) に基づく表面処理用木材保存材による ※ 改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②による ※ 改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②による ※ 改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②による ※ 改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②による	16 壁及び天井下地	・ 壁網継、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6.5.9] ※ 杉又は松
4 木下地等の表面 仕上げ	見え係り面の表面仕上げの程度 [6.5.1] ※ プレーナー加工仕上げ 適用部位 (部分) (施工箇所: ) ・ 超自動機械かん 適用部位 (部分) (施工箇所: ) ・ サンダー 適用部位 (部分) (施工箇所: )	11 防塵・防蟻・防虫 処理等	防塵・防蟻・防虫処理等 [6.5.5] 適用部位 (部分) (施工箇所: )	17 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 [6.6.2~4] 屋外 ( ※ 25形 ) 屋内 ( ※ 19形 ・ 25形 ) ・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 1章 適用区分による風圧力の ( 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ) 倍の風圧力に対応した工法 野縁受、つりボルト及びインサートの間隔 図示 周辺部の端からの間隔 図示 野縁の間隔 図示 野縁の埋込インサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・ 行う (試験箇所数 ※ 屋内の場合、当該階において3箇所 ) (確認強度 ※ 改修標準仕様書6.6.4(1)(9)による ) ・ 行わない				
5 施工一般	ホルムアルデヒド放散量 ※ 標準仕様書12.2.1(1)(ウ)による [6.5.2] [6.3.1] [6.3.6] [6.3.7] [6.3.8] [6.3.9]	12 不燃処理木材	不燃処理木材 [12.3.3] 適用部位 (部位) ・ 図示 準不燃材料 適用部位 (部位) ・ 図示 難燃材料 適用部位 (部位) ・ 図示	18 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 [6.7.3, 4] [表6.7.1] ※ 改修標準仕様書6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 改修標準仕様書6.7.4(5)による				
6 製材	JAS 1083-5 に基づく下地用製材 [6.5.2]	13 内閣間仕切り輪及び 床組み	内閣間仕切り輪に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) [6.5.6] ※ 杉又は松 ・ 床組みに用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松 ・ 土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引及び転ばし根太 ※ ひのきは保存処理木材 [6.5.7]	19 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
耐熱性による区分	T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6	20 接合剤	JAS A 5908に基づくパーティクルボード [6.5.3, 4] [6.9.3] [6.11.4, 5] 接合剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が追加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接合剤の種類 図示	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
熱線吸収ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類	※ 下記以外は建具表による	21 接合剤	JAS A 5908に基づくパーティクルボード [6.5.3, 4] [6.9.3] [6.11.4, 5] 接合剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が追加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接合剤の種類 図示	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
材料ガラスの種類、組合せ	落球衝撃は脆特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・ フロート板、フロート板合わせガラス ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類	22 ビニル幅木	材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 [6.8.2] 高さ (mm) ・ 40 ・ 75 ・ 100 厚さ (mm) ※ 1.5以上	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
強化ガラスの形状による種類、材料ガラスの種類による名称、破片の状態並びにショットバック衝撃特性による種類	※ 下記以外は建具表による	23 ゴム床タイル	種類 (単層品 ・ 複層品) [6.8.2] 色柄 ( ) 厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法 (mm) ( )	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
材料ガラスの種類による名称	材料ガラス 破片の状態並びにショットバック衝撃特性による種類 ・ フロート強化ガラス ・ フロート板ガラス ・ I類 ・ III類	24 カーペット敷き	織りゅうたん [6.9.2, 3] [表6.9.1] 織り方 ・ ウィルトンカーペット ・ フェイストゥフェイスカーペット ・ アキスミスターカーペット ・ カット、ループ併用 色柄 ※ 模様のない無地 パイル糸の埋め方等 ※ 無地の織りゅうたんの種類 (A種 ・ B種 ・ C種) 織りゅうたんの敷き方法 ※ ヒートボンド工法 ・ つづり縫い ・ タフテッドカーペット パイルの形状 ・ カットパイル ・ ルーフパイル ・ カット、ループ併用	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
熱線吸収フロート板ガラス	・ 1種 ・ 2種 ・ グリーン	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
熱線吸収網入り磨き板ガラス	・ 1種 ・ 2種	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
複層ガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ	※ 下記以外は建具表による	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
断熱性による区分	T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
封入気体の種類	・ 空気 ・ アルゴン	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
日射取得性、日射遮蔽性による区分	・ G ・ S	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
熱線反射ガラスの材料ガラスの種類及び厚さによる種類	※ 下記以外は建具表による	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
材料ガラスの種類による区分	日射遮蔽性による区分 耐久性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 A類 B類	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
反射皮膜面	・ 内面 ・ 外面 映像調整 行わない ・ 行う	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
ガラスの留め材及び溝の大きさ	ガラス留め材 ガラス溝の大きさ (mm) アルミニウム製 ※ シーリング材 ・ ガスケット ※ 建具の製造所の仕様による 鋼製及び鋼製軽量 ※ シーリング材 ・ ガスケット ※ 建具の製造所の仕様による ステンレス製 ※ シーリング材 ・ ガスケット ※ 建具の製造所の仕様による 樹脂製 ※ シーリング材 ・ ガスケット ※ 建具の製造所の仕様による	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
耐震性能	建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による [5.14.5]	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
表面形状	呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 クリア 乳白 平積み 曲面積み 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) 防火性能 ・ 正方形 ・ 160×160 ・ 95 ・ 125 ※ 8~15 ※ 標準仕様書5.14.5(2) (9) (a) ② ※ 無し	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
壁用金属枠及び補強材の材質・形状	※ 図示	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
力骨	材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※ 径5.5mm 形状 ※ はしご形状横筋及び縦筋 化粧目地モルタルの色 (シーリングの種類) 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※ 図示 形状 ※ 図示	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
木下地の場合のアンカー等の取付け間隔	図示による	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
工法	1章 適用区分による風圧力の ( 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ) 倍の風圧力に対応した工法 目地部の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様による 図示	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				
品質	JIS A5759による	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	20 ビニル床シート	種類 [6.8.2, 3] ※ FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防汚性				

25	合成樹脂塗床	[6. 1. 0. 2、3]			
		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
26	防じん用塗床	厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ
		厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・ 薄膜流しの工法 ・ 厚膜流しの工法 ・ 樹脂モルタル工法	・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ
27	フローリング張り	[6. 1. 1. 2~6]			
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)
28	畳敷き	[6. 1. 2. 2]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)
29	せつこうボードその他ボード及び合板張り	[6. 1. 3. 2、3]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)

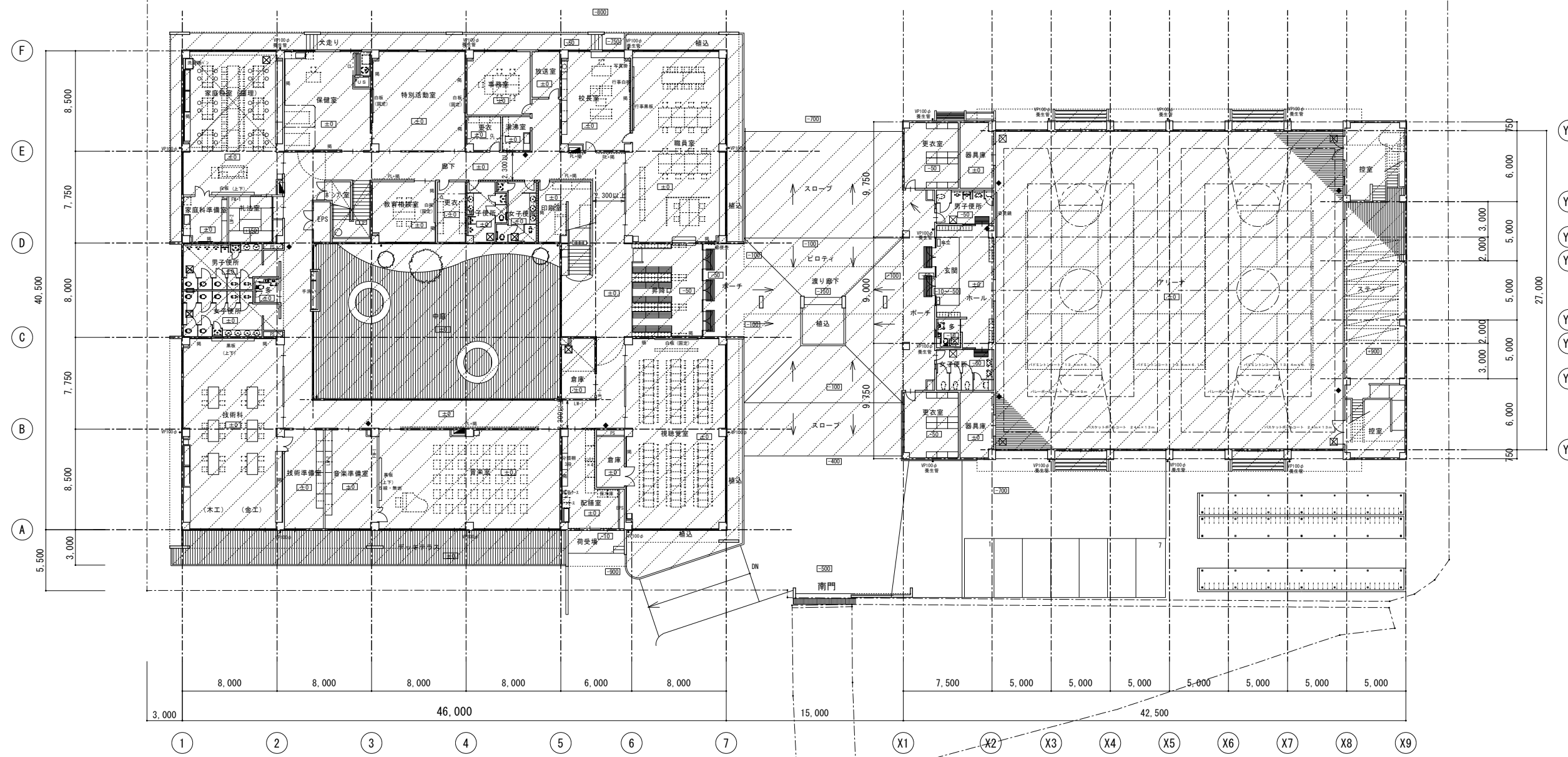
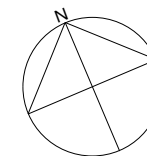
30	壁紙張り	[6. 1. 4. 2、3]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)
31	モルタル塗り	[6. 1. 5. 3、5、6]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)
32	タイル張り	[6. 1. 6. 2~4]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)

33	セルフレベリング材塗り	[6. 1. 7. 2、3]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)

7	塗装改修工事	[7. 1. 3]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)
8	耐震改修工事	[7. 2. 1~7]			
		種別	工法	樹種	厚さ (mm)

9 環境配慮改修工事（平成18年9月1日以降の建築物であるため、非該当）	1 石綿含有建材の除去工事 [9.1.1.3~5]	<p>・石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定地点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点（各施工箇所ごと）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>処理作業中</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>※ 測定5</td> <td>セキユリテゾーシ入口</td> <td>・計</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>※ 測定6</td> <td>業じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）</td> <td>出口吹出し風速1m/s以下 の位置</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>※ 測定7</td> <td>処理作業室外 ・施工区周辺 ・敷地境界</td> <td>・計</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>※ 測定8</td> <td>処理作業後（シート養生中）</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>※ 測定9</td> <td>処理作業後（シート撤去後 1週間以降）</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計</td> <td>点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 ・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定4・測定5</td> <td>粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>・JIS K 3850-11に基づいた測定</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径 (mm)</th> <th>試料の吸引流量 (l/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定4・測定5</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去（石綿含有保温材等を切断又は破壊して除去する場合を含む） 除去対象範囲 ※ 図示 除去方法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議すること。</p> <p>・石綿含有保温材等の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第2種を含む） 除去対象範囲 ※ 図示 除去方法 ※ 原形のまま、手はらし・破壊して除去 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分（管理型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</p> <p>・石綿含有成形板等けい酸カルシウム板第1種の切断、破砕等による除去 除去対象範囲 ※ 図示 隔離養生（負圧不要）方法 ※ 図示 足場 ※ 図示 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</p> <p>・石綿含有成形板の除去（石綿含有けい酸カルシウム板第1種の手はらしによる除去を含む） 除去対象範囲 ※ 図示 養生 ※ 図示 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</p> <p>・石綿含有仕上り材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去 除去対象範囲 ※ 図示 養生 ※ 図示 除去した石綿含有仕上り材又は成形板の処分 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）</p> <p>※ 石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号）第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・集じん装置併用手工具ケレン工法 ・集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30~50MPa程度） ・集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上） ・超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用） ・剥離剤併用手工具ケレン工法 ・剥離剤併用高圧水洗工法（30~50MPa程度） ・剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上） ・剥離剤併用超音波ケレン工法 ・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法</p> <p>除去対象範囲 ※ 図示 作業時の隔離 ※ 行わない・行う 試験施工 ※ 行わない・行う 養生方法 ※ 図示</p> <p>除去した石綿含有仕上り材の処分 ・埋立処分（安定型最終処分場） ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） 除去した石綿含有仕上り材の保管、運搬及び処分 ※ 改修標準仕様書9.1.3(3)による 確認及び後片付け ※ 改修標準仕様書9.1.3(4)(7)、(8)、(9)及び(10)による</p>	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計	点	測定2	処理作業中	調査対象室外部の付近	・計	点	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計	点	測定4	※ 測定5	セキユリテゾーシ入口	・計	点	測定5	※ 測定6	業じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下 の位置	・計 点	測定6	※ 測定7	処理作業室外 ・施工区周辺 ・敷地境界	・計	点	測定7	※ 測定8	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計	点	測定8	※ 測定9	処理作業後（シート撤去後 1週間以降）	調査対象室外部の付近	・計	点	測定名称	測定方法	測定4・測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定6	・JIS K 3850-11に基づいた測定	測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)	測定4・測定5	25	5	30	測定6	47	10	120	測定7	47	10	240	2 外断熱改修工事 [9.2.1~4]	3 断熱・防露改修工事 [9.3.2~4]	4 屋上緑化改修工事 [9.4.2~4]	5 透水性アスファルト舗装改修工事 [9.5.2~5、9]	10 その他	1 フリーアクセスフロア [2.0.2.2]	2 表示 [2.0.2.11]	3 ブラインド [2.0.2.14]	4 ロールスクリーン [2.0.2.15]	5 カーテン [2.0.2.16]	6 カーテンレール [2.0.2.16]	7 ブラインドボックス及びカーテンボックス	8 天井点検口	9 床点検口	<p>案内用図記号はJIS Z 8210による。 標準仕様、非常用出入口等の表示 ※ 消防法に適合する市販品 ・窓名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>ボックスレールの材質</th> <th>幅・高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・横形</td> <td>※ 手動</td> <td>※ ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※ アルミニウム合金製</td> <td>※ 25</td> <td>※ 鋼製</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td>※ 手動</td> <td>※ 2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>※ アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>※ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>アルミスラットの材質 横付け塗装仕上げ クロススラットの材質 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>操作方式</th> <th>透光性能</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ガラス繊維製</td> <td>・電動式</td> <td>・1級</td> <td>※ 図示</td> <td>※ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・合成・天然繊維製</td> <td>・スプリング式</td> <td>・2級</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木製</td> <td>・チェーン式</td> <td>・3級</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・コード式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シングル・片引き</td> <td>・手引き</td> <td>・つまみひだ</td> <td></td> <td>※ 図示</td> <td>・暗幕</td> </tr> <tr> <td>・ダブル・引分け</td> <td>・ひも引き ・電動</td> <td>・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>生地の仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上 カーテン用付属金物 フック（ひるかん） ※ 鋼製・樹脂製</p> <p>材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 強さによる区分 ※ 10-90 仕上げ ※ アルマイト 形状 ※ 角形</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>内枠</th> <th>外枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ アルミニウム製</td> <td>※ 450×450 ・600×600</td> <td>※ 一般形</td> <td>※ 一般形</td> <td>※ 縦横タイプ ・目地タイプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 屋内外用</td> <td>※ 屋内外用 ・目地タイプ</td> </tr> </tbody> </table> <p>（品質・性能） 内外枠の材質 アルミニウム製 JIS H 4100 A6063S-2又は同等の性能を有するもの 表面処理 陽極酸化皮膜 JIS H 8601 (AA6) 又は同等の性能を有するもの （外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの） 内枠及び外枠のコーナース 鋼板に垂れめつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 外枠の取付け金物 鋼板に垂れめつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 内枠の仕上げ材取付金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材、垂れめつき鋼板又は同等の性能を有するもの 耐炎性能（繰り返し開閉試験） （1）300回の繰り返し開閉試験後、内裏の垂れ下がりが、0.5mm以内とする。 （2）開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 枠の寸法許容差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 （試験方法） 内裏（内枠）の繰り返し開閉試験 （イ）試験体は一般事務用とし、見込み40mm程度のものとする。 （ロ）試験体は、外枠を天井下取付用補強材に直接留付ける方式（天井ボンドなどの仕上げ材を挟んで固定しない方式）とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定天井下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野縁の種類は、19形とし仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm（JIS A 6901「せっこうボード製品」の6B-Rの難燃2級又は発熱性2級以上）二重張りとする。 （2）試験は、内裏を閉じた状態で自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 （3）測定は、上記繰り返し試験を300回行い、試験後の内裏の垂れ下り寸法を測定する。</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックスレールの材質	幅・高さ	・横形	※ 手動	※ ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※ アルミニウム合金製	※ 25	※ 鋼製	※ 図示	・縦形	※ 手動	※ 2本操作コード式 ・1本操作コード式	※ アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	※ 図示	材質	操作方式	透光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考	・ガラス繊維製	・電動式	・1級	※ 図示	※ 図示		・合成・天然繊維製	・スプリング式	・2級				・木製	・チェーン式	・3級					・コード式					形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル・片引き	・手引き	・つまみひだ		※ 図示	・暗幕	・ダブル・引分け	・ひも引き ・電動	・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ				材質	寸法 (mm)	形式	内枠	外枠	※ アルミニウム製	※ 450×450 ・600×600	※ 一般形	※ 一般形	※ 縦横タイプ ・目地タイプ				※ 屋内外用	※ 屋内外用 ・目地タイプ
		適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）																																																																																																																																																																				
測定1	処理作業前	処理作業室内	・計	点																																																																																																																																																																						
測定2	処理作業中	調査対象室外部の付近	・計	点																																																																																																																																																																						
測定3	処理作業中	処理作業室内	・計	点																																																																																																																																																																						
測定4	※ 測定5	セキユリテゾーシ入口	・計	点																																																																																																																																																																						
測定5	※ 測定6	業じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下 の位置	・計 点																																																																																																																																																																						
測定6	※ 測定7	処理作業室外 ・施工区周辺 ・敷地境界	・計	点																																																																																																																																																																						
測定7	※ 測定8	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・計	点																																																																																																																																																																					
測定8	※ 測定9	処理作業後（シート撤去後 1週間以降）	調査対象室外部の付近	・計	点																																																																																																																																																																					
測定名称	測定方法																																																																																																																																																																									
測定4・測定5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																																									
測定6	・JIS K 3850-11に基づいた測定																																																																																																																																																																									
測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																																																							
測定4・測定5	25	5	30																																																																																																																																																																							
測定6	47	10	120																																																																																																																																																																							
測定7	47	10	240																																																																																																																																																																							
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックスレールの材質	幅・高さ																																																																																																																																																																				
・横形	※ 手動	※ ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※ アルミニウム合金製	※ 25	※ 鋼製	※ 図示																																																																																																																																																																				
・縦形	※ 手動	※ 2本操作コード式 ・1本操作コード式	※ アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	※ 図示																																																																																																																																																																				
材質	操作方式	透光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考																																																																																																																																																																					
・ガラス繊維製	・電動式	・1級	※ 図示	※ 図示																																																																																																																																																																						
・合成・天然繊維製	・スプリング式	・2級																																																																																																																																																																								
・木製	・チェーン式	・3級																																																																																																																																																																								
	・コード式																																																																																																																																																																									
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																																																																																					
・シングル・片引き	・手引き	・つまみひだ		※ 図示	・暗幕																																																																																																																																																																					
・ダブル・引分け	・ひも引き ・電動	・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ																																																																																																																																																																								
材質	寸法 (mm)	形式	内枠	外枠																																																																																																																																																																						
※ アルミニウム製	※ 450×450 ・600×600	※ 一般形	※ 一般形	※ 縦横タイプ ・目地タイプ																																																																																																																																																																						
			※ 屋内外用	※ 屋内外用 ・目地タイプ																																																																																																																																																																						

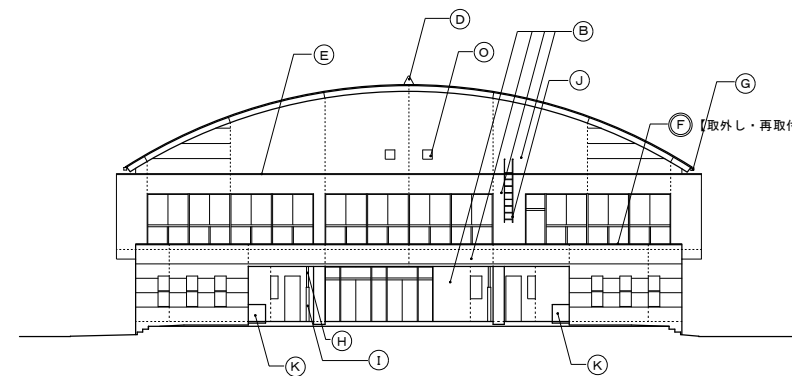
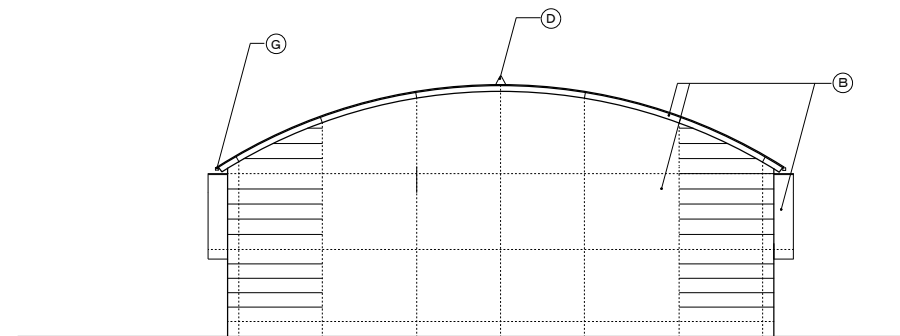
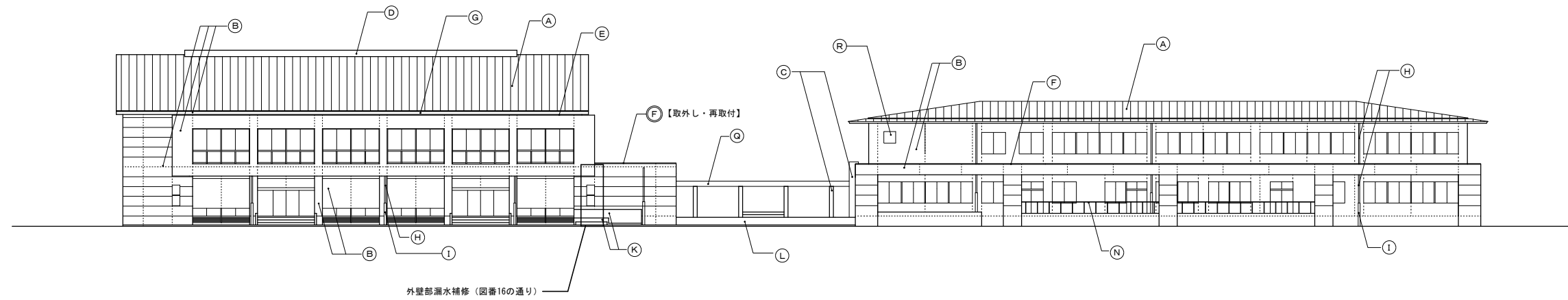
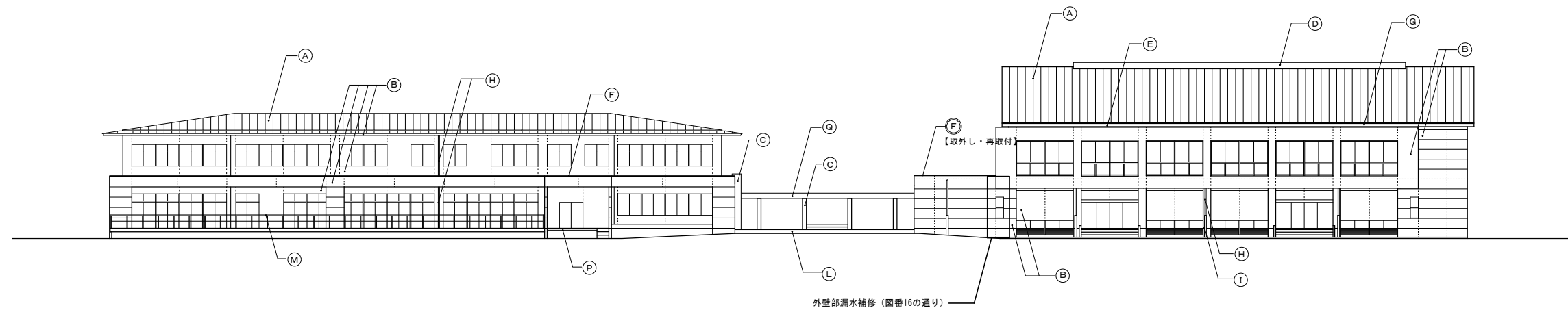




凡例	
	施工範囲外
	縦型ドレン (鋼鉄製)
	横型ドレン (鋼鉄製)



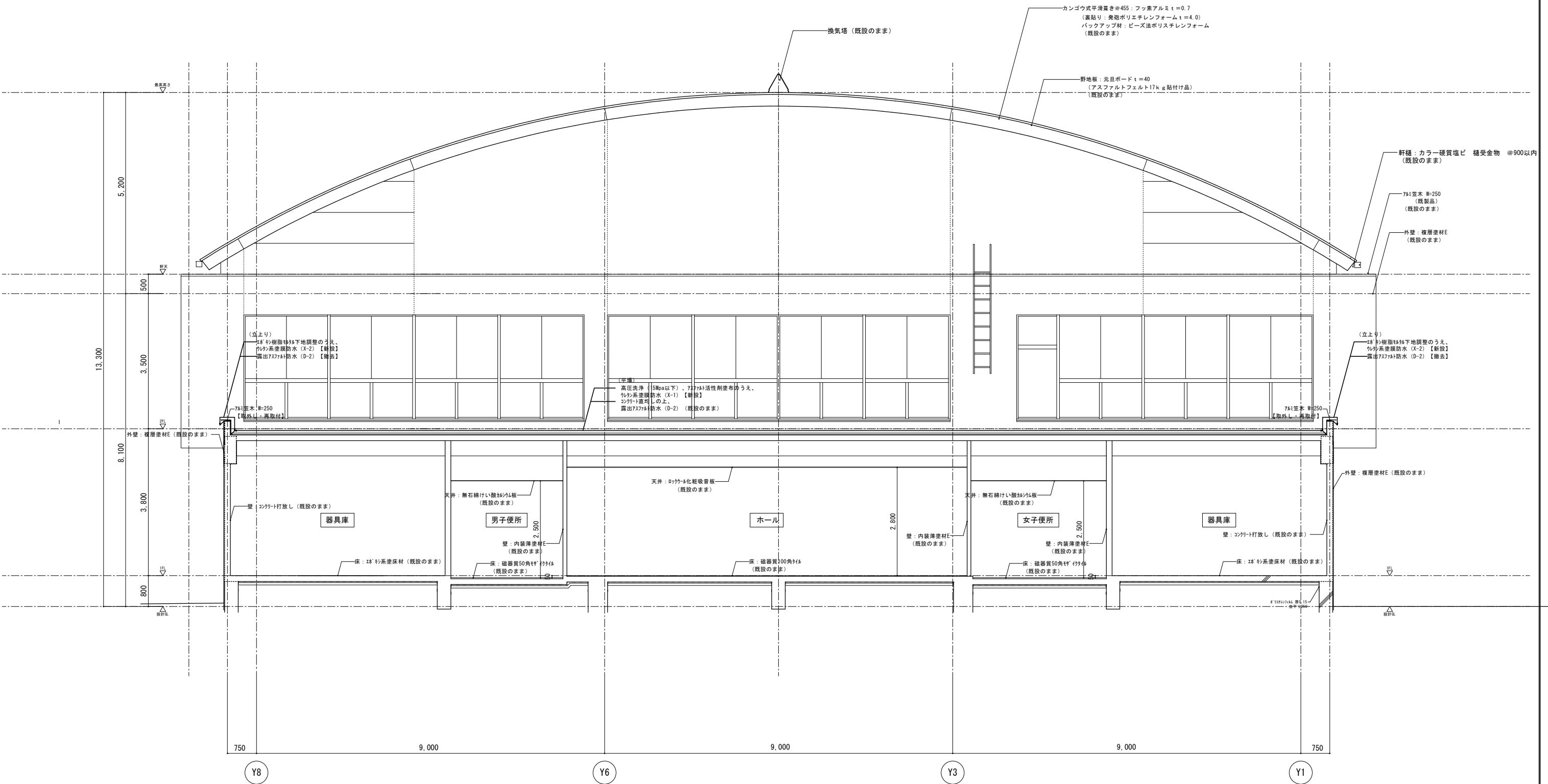




既存仕様 凡例	
(A)	屋根：フッ素アルミ厚0.7 平滑屋根葺き
(B)	外壁：合板型枠打放しの上 複層塗材E
(C)	塗装合板型枠打放しの上 撥水材
(D)	換気棟（金属製）
(E)	アルミ笠木
(F)	アルミ笠木（7-キレド同等）
(G)	軒樋：お-硬質塩ビ軒樋 樋受金物 @900以内
(H)	たて樋：お-硬質塩ビ管 100φ
(I)	養生管：配管用鋼管125A OP H:1,800
(J)	ステンレスタラップ
(K)	磁器質50角枠 1/4φ
(L)	床：磁器質100角ノリツク 1/4φ
(M)	木製フェンス
(N)	スリム手摺42φ
(O)	換気フード（設備工事）
(P)	衝撃吸収材（カーストッパー）
(Q)	アルミ複合板 厚4.0フッ素樹脂塗装（不燃）
(R)	校章 600φ
○	改修範囲
○	既設のまま
.....	誘発目地（シ-リフ'有り）、打継目地
——	化粧目地（シ-リフ'無し）

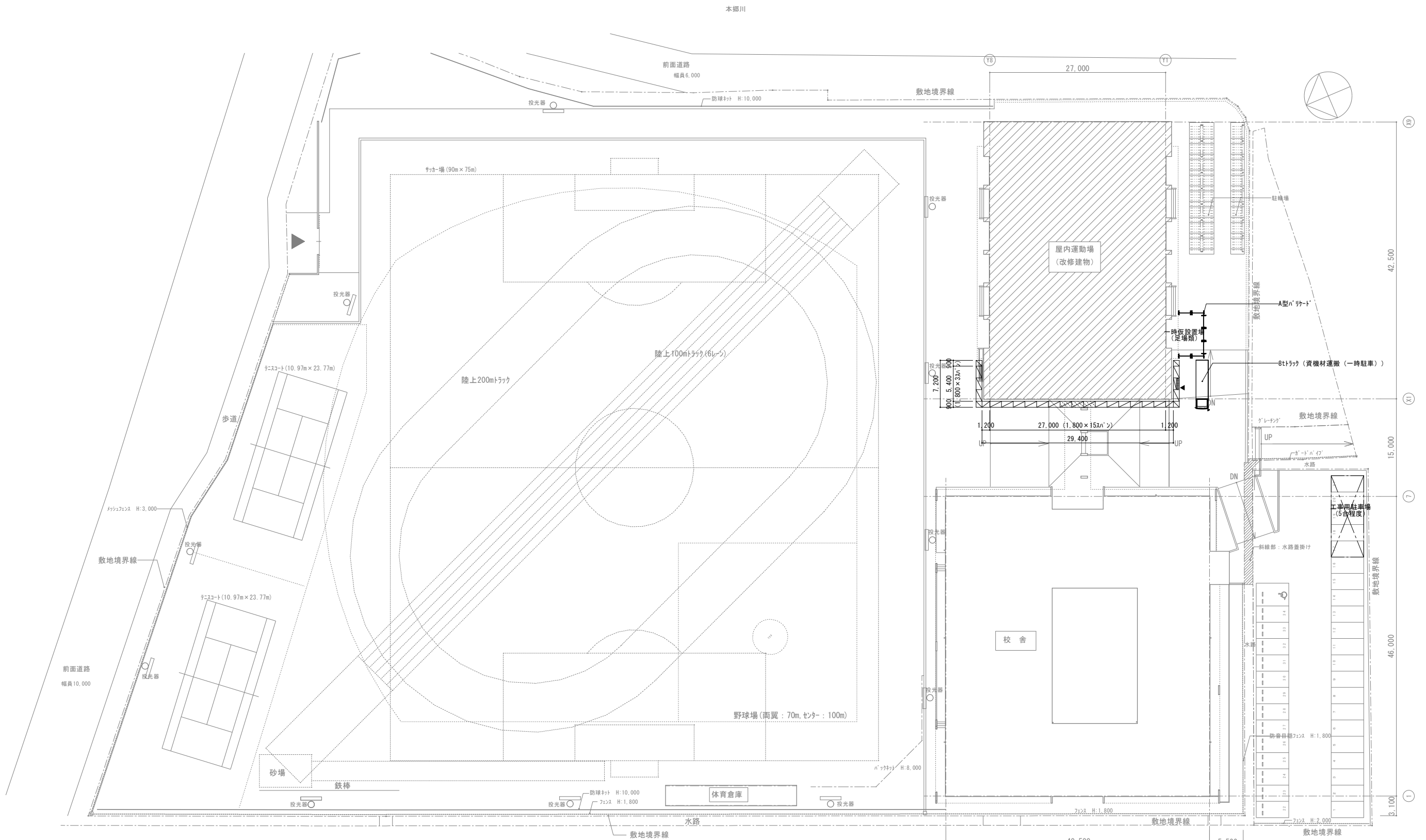

<p>株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT &amp; ASSOCIATES.</p>	<p>一般建築士事務所 広島県知事登録 24(1)第 1573号</p>	<p>二級建築士 第5923号 中山 淳太</p>	<p>大崎上島中学校体育館屋根防水改修工事</p>	<p>図面 No. 建築</p>
	<p>承認</p>	<p>立面図</p>	<p>縮尺 1/200</p>	<p>13</p>





凡例	
←→	工事範囲





特記事項	
・	工事開始前に仮設計画面図を作成し、監督員の承諾のうえ、工事を行うこと。
・	足場は安衛則に規定する間隔以内に壁つなぎ、控えなどを設けること。
・	足場柱脚は極力、段差のない堅固な箇所に設ける。
・	足場外周はメッシュシートによる垂直養生を行うこと。
・	壁つなぎ撤去後は、外壁近似色の変成シリコン系シーリングを充填すること。
・	足場組立・解体作業は休校日に実施すること。(ただし、関係者協議・了承の場合を除く。)
・	その他、安衛則、ガイドライン等の基準に満足すること。

凡例	
	外部足場 (くさび緊結式足場 W=900) 3層
	災害防止 (メッシュシート張り) 共
	梁枠 (2層、3スパン)


<p>株式会社 村田相互設計 MURATA SOGO ARCHITECT &amp; ASSOCIATES.</p>	<p>一級建築士事務所 広島県知事登録 24(1)第 1572号</p>	<p>二級建築士 第5923号 中山 洋太</p>	<p>大崎上島中学校体育館屋根防水改修工事</p>	<p>図面 No. 建築</p>
	<p>(参考) 仮設計画面図</p>	<p>縮尺 1/300</p>	<p>17</p>	